

# 第1分科会審議結果報告書

第8次総合計画基本計画（素案）に係る本分科会所掌範囲の基本計画事業について審議した結果、第8次総合計画策定特別委員会（全体会）で引き続き審議を要する事業について、次のとおり決定しましたので、報告します。

## 記

### （1）全体会へ提案すべきものとして決定した事業 該当なし

なお、全体会への提案があったものの、第1分科会として提案すべき事業として合意に至らなかった基本計画事業は、次のとおりです。

### （2）全体会へ提案しない事業として決定されたもの

政策の柱	施策	基本計画事業
3	6	③: 消防団員の加入促進を図り、地域消防力を強化します
		<p>【提案内容】 「処遇改善」や「負担軽減」というような言葉を入れてはどうか。</p> <p>【提案理由】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>消防団に加入する人がいない中で、処遇改善は必要である。</li></ul> <p>【合意に至らなかった理由】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>処遇改善というと、報酬が増えるイメージがある。 負担軽減は、時間的にも体力的にも負担が大きいというマイナスイメージとなり、消防団に加入することを躊躇することが課題であると思われるため。</li><li>無理やり消防団に入れるのではなく、入りたい消防団というようなプラスのイメージが必要であるため。</li><li>消防団の仕事を当たり前としてやってもらうため。</li></ul>

政策の柱	施 策	基本計画事業
3	7	①: 市民が実施する救急蘇生法の質を高め、心停止の救命率を向上します
		<p>【提案内容】 「質」を「成果」や「確実性」にしてはどうか</p> <p>【提案理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「質」という言葉がわかりづらく、市民のレベルを上げるというか、受講する側が質の向上を求められているような受け取り方をされてしまうのではないかとと思われるため。</li> <li>・救急蘇生法の講習をしっかりと実施することによって、救命率を向上させるという趣旨の言葉の方が良いため。</li> </ul> <p>【合意に至らなかった理由】</p> <p>7月24日の分科会での審議を受けて、執行部から7月27日の分科会で修正案が示され、これを了承することとしたため。</p> <p>【修正案】</p> <p>市民による救急蘇生法の効果を高め、心停止の救命率を向上します</p>

政策の柱	施 策	基本計画事業
基盤	3	①: 公共施設適正配置計画に基づき、施設の統合・複合化、転用、廃止等を進めます
		<p>【提案内容】</p> <p>「市民の意見を聴く」という言葉を入れてはどうか。</p> <p>【提案理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業名からは公共施設をどうするかという視点しか入ってこない。校区別に地域力も含めて展開していくなら、公共施設もそれに合わせた視点のヒアリングや計画を考えていかなければならない時期に来ていると思われるため。</li> </ul> <p>【合意に至らなかった理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の声を聴くことを前提で基本計画事業名を決めていると思われるため。</li> <li>・事業を進めるにあたり、市民の声を聴くことは当たり前のことであり、多治見市市民参加条例でしっかりうたっているため。</li> </ul>

(3)分科会において全体会へ報告すべきと決定されたもの

政策の柱	施 策	基本計画事業
3	5	<p>④:避難行動要支援者名簿や個別避難計画を活用し、地域等と連携した要配慮者の避難支援対策を推進します</p> <p>【議員間討議での意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域力で行っていくことと、自治組織を持続可能にしていくことと密接に関わってくる。防災に関する取り組みによって、地域の安心安全につながるということが、自治組織のやりがいにつながっていく可能性と、自治組織の負担感が増すという危険性を伴う。</li> <li>・地域の特徴や性格を見ながら、きちんとしたプランを立てて進めていかないと、個別避難計画の策定は難しいのではないかと。</li> </ul> <p>【結論】</p> <p>「柱3－施策5－④避難行動要支援者名簿や個別避難計画を活用し、地域等と連携した要配慮者の避難支援対策を推進します」</p> <p>「柱4－施策1－①地域住民や各種団体と連携し、地域力活動を支援します」</p> <p>「柱4－②自治組織の活動が持続可能になるように支援します」</p> <p>は、密接につながっていることを議員間でしっかり共通認識を持ちたいというのが総務常任委員会としての考えである。</p>

政策の柱	施 策	基本計画事業
基盤	3	<p>④:本庁舎の跡地等活用を検討します</p> <p>【質疑を通して確認したこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁舎の位置の決定を受けて、本庁舎建設と跡地等活用について両輪として進めていく必要があること。</li> <li>・執行部は、直ちに何かを決めるということよりも、ワークショップやアンケート等、広く意見交換をする場を設けたいと考えていること。</li> <li>・総務課の所管であるが、中心市街地の活性化の観点から産業観光課や都市政策課とも関係し、交通問題の観点からは道路部局も絡んでくるので、執行部は、全庁挙げて取り組んでいきたいと考えていること。</li> </ul>

政策の柱	施 策	基本計画事業
基盤	3	⑤:新庁舎建設を契機に、多治見駅周辺の駐車場の整備を検討します
		<p>【質疑を通して確認したこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新本庁舎を含めた駅周辺の駐車場需要を調査し、新たな駐車場整備の必要性の有無を検討する事業であること。</li> </ul>

令和 5年 8月23日

第8次総合計画策定特別委員長 仙石 三喜男 様

第1分科会長 城處 裕二